

平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,412	14.3	130	57.7	121	81.4	73	76.0
29年3月期第1四半期	1,236	3.0	83	14.9	67	19.5	41	8.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 107百万円 (136.5%) 29年3月期第1四半期 45百万円 (42.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	7.84	
29年3月期第1四半期	4.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,264	3,763	49.5
29年3月期	7,209	3,732	49.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,599百万円 29年3月期 3,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	4.1	440	13.4	360	21.1	210	40.2	223.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,000,000 株	29年3月期	10,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	620,231 株	29年3月期	620,183 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,379,785 株	29年3月期1Q	9,380,344 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月22日開催の第134期定時株主総会において、株式併合について、承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 7円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 22円39銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向で推移し、緩やかな回復基調となっておりますものの、労働力不足や海外の政治・経済情勢不安などの懸念材料もあり、景気の先行きについては不透明感を払拭できない状況にあります。

このような状況の下、当社グループは経営スローガンである「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」を徹底させ、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、具体的な目標を定め確実に行動し、成果を獲得する、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、2017年5月に電子取引市場への対応やインターネットを活用した情報提供及び商品PRの強化などの売上拡大を目指した施策を行う「営業推進部」を新設し、「営業部」及び昨年度に設置した「営業企画部」との連携を図り、組織的な営業活動の更なる強化を進めており、加えて、ロブスターブランドの根幹である品質の維持・向上を強力に推し進めるべく、品質保証部門を独立させ、商品戦略に基づいた商品企画をより早く商品化するため、商品企画部門と商品設計部門の統合を行いました。

その結果、売上高は前年同期比14.3%増の14億1千2百万円（前年同期12億3千6百万円）となり、利益面では増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、営業利益で同57.7%増の1億3千万円（同8千3百万円）、経常利益で同81.4%増の1億2千1百万円（同6千7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同76.0%増の7千3百万円（同4千1百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、過多であった流通在庫の正常化に向けて拡販努力を行ったモンキレンチをはじめ、電設工具、プライヤ類が好調な推移を見せ、また、新企画商品の継続的な販売もあって増加しました。ファスニング部門では、エアリーベッター、エアーナッター、工業用ファスナーなどが堅調な販売であったことに加え、超小型オートリベットフィーダーや住宅関連向けのファスニングツールが伸長し増加しました。切削工具部門については拡販努力をしておりますものの、価格競争の厳しさは継続しており、若干減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ増加しており、一部の地域においては流通在庫増加影響を受けて減少しておりますものの、ハンドツール部門では韓国向けに拡販努力の奏功したモンキレンチや同国の景況回復に伴う電設工具の好調な販売により増加しました。ファスニング部門では米州向けのエアリーベッター等のファスニングツール類が全般的に好調に推移しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比14.8%増の13億4千8百万円（前年同期11億7千4百万円）となりました。利益面では営業利益が増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、前年同期比82.8%増の9千6百万円（同5千2百万円）となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数は気温上昇などの気候影響緩和を目的とした集客施策の効果などにより増加し、お客様一人当たり売上高については低下傾向が継続しておりましたが、前年度後半からは下げ止まり感を見せており、売上高は前年同期比4.4%増の6千3百万円（前年同期6千1百万円）となり、営業利益は、同13.6%増の3千4百万円（同3千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5千5百万円増加しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比4千8百万円増の4億9千1百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同6百万円増の2億5千7千2百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少がありましたものの、投資有価証券の増加があったことによるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比1億4千2百万円増の26億3千6百万円となりました。これは主に買掛金の減少がありましたものの、短期借入金や未払費用が増加したことによるものです。

固定負債は同1億1千7百万円減の8億6千4百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比3千1百万円増の37億6千3百万円となりました。これは主に配当支出に伴う利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成29年5月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,684	1,744,552
受取手形及び売掛金	1,383,060	1,147,840
商品及び製品	1,131,621	1,126,030
仕掛品	235,862	297,759
原材料及び貯蔵品	183,047	194,421
その他	182,477	186,570
貸倒引当金	△5,679	△5,337
流動資産合計	4,643,074	4,691,836
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	730,057	716,573
土地	738,508	738,508
その他(純額)	492,682	467,907
有形固定資産合計	1,961,248	1,922,990
無形固定資産	36,407	36,965
投資その他の資産	568,354	612,910
固定資産合計	2,566,010	2,572,865
資産合計	7,209,085	7,264,701
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,993	237,470
短期借入金	1,765,246	1,835,760
未払法人税等	21,469	47,323
その他	432,741	516,128
流動負債合計	2,494,450	2,636,682
固定負債		
長期借入金	716,021	591,126
退職給付に係る負債	55,301	57,589
その他	210,564	215,387
固定負債合計	981,887	864,103
負債合計	3,476,337	3,500,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,089,366	2,097,204
自己株式	△154,843	△154,853
株主資本合計	3,385,568	3,393,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,108	206,177
その他の包括利益累計額合計	178,108	206,177
非支配株主持分	169,070	164,342
純資産合計	3,732,747	3,763,916
負債純資産合計	7,209,085	7,264,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,236,008	1,412,464
売上原価	771,866	869,261
売上総利益	464,141	543,203
販売費及び一般管理費	381,126	412,273
営業利益	83,015	130,930
営業外収益		
受取利息	31	13
受取配当金	4,791	5,596
受取家賃	2,083	1,776
為替差益	—	2,714
その他	1,605	2,005
営業外収益合計	8,511	12,106
営業外費用		
支払利息	8,801	7,979
売上割引	11,311	13,017
その他	4,403	502
営業外費用合計	24,516	21,499
経常利益	67,010	121,536
税金等調整前四半期純利益	67,010	121,536
法人税等	22,772	42,544
四半期純利益	44,238	78,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,487	5,495
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,751	73,496

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	44,238	78,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,142	28,345
その他の包括利益合計	1,142	28,345
四半期包括利益	45,380	107,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,765	101,565
非支配株主に係る四半期包括利益	2,614	5,772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,174,910	61,098	1,236,008	—	1,236,008	1,236,008
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,174,910	61,098	1,239,008	—	1,236,008	1,236,008
セグメント利益	52,931	30,083	83,015	—	83,015	83,015

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,348,658	63,806	1,412,464	—	1,412,464	1,412,464
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,348,658	63,806	1,412,464	—	1,412,464	1,412,464
セグメント利益	96,759	34,170	130,930	—	130,930	130,930

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「レジャーその他事業」に記載しておりました株式会社ロブメディカルを前連結会計年度において清算し、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「レジャーその他事業」を「レジャー事業」に変更しております。